



▼1月13日

商工会女性部が災害対策基金へ寄付



松前町商工会女性部は、夏祭り、たわわ祭などの売り上げの一部を、町の災害対策基金に寄付しました。

同部は、平成18年度から毎年、売り上げ金の一部を寄付しています。「続けることに意味があると思っています」と同部部長の中島瞳さんの言葉に、岡本靖町長は「災害時には有効に活用したい」と話していました。

▼12月22日

人権の心と花を広めよう



「人権の花運動」花の贈呈式は、松前小学校で行われました。

この花は、10月から同校4年生の児童が大切に育ててきたものです。児童を代表して、西尾優輝さんと丑田光彩ちゃんが「みんなの笑顔のために使ってください」「松前町を優しい思いやりいっぱい町にしたい」とあいさつ。町内の金融機関や公共施設の関係者などに育てた花を贈り、人権の輪を広げていました。

▼1月15日

小富士保育所で「どんど焼き」



小富士保育所の園児たちは、園庭で和楽園のおじいちゃんおばあちゃんと「どんど焼き」を行いました。

園児たちは、先生からどんど焼きを行う理由について聞いた後、家から持ってきた正月飾りなどを燃やしました。

「健やかに育ちますように」という願いを込めて、園児たちは手を合わせながら、空に向かって燃える炎を見つめていました。

▼1月4日

新春を祝って



「平成28年新春年賀のつどい」は、文化センターで開催され、約380人が出席しました。

年頭のあいさつで岡本靖町長は、「今年は実が固まっていく『丙申（ひのえさる）』の年です。昨年掲げた5つのまちづくりを実行し、松前町を発展させていきたい」と抱負を語りました。

この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。